

お知らせ
 次回アチコタネーゼの朝市は7月10日(日)に開催します。

岩 沢 通 信

第45号
 2018年(平成30年)5月25日創刊
 発行 岩沢アチコタネーゼ
 岩沢地域振興協議会・岩沢分館
 編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

岩沢アチコタネーゼ田植えツアー再開



外之沢の棚田に久しぶりの笑い声が響いた。5月28日、里地はもろんのこと山間地の田植えもすっかり終わりを迎える頃だか、外之沢の交流棚田はこの日が本番。朝8時30分に集合したアチコタネーゼメンバーは3年ぶりとなる外部交流者の受入の準備を進めた。さらに今回はアチコタネーゼのふるさと納税の返礼品として取扱を行っている「ふるさとチョイス」の事業本部から取材の申込があり、カメラマンやライター、デザイナー4人も朝から外之沢の棚田に到着。間もなくインターンOB

3年ぶりの交流にインターンOB・OGも参加

・OGである池田幸恵さんを始めとする関東からの参加者の様子をカメラに収めたり、アチコタネーゼの関口代表や駒井副代表にインタビューを行っていた。今回は交流事業のために完全手植え用のワク(定規)も用意して参加者は転がしの体験も楽しんだ。夕方からはお待ちかねの懇親会を開催。コロナ禍で長らく大勢での参加は控えていたが、この日は遅くまでお酒と話しを楽しんだとのこと。棚田の管理を行う山田公博さんも「毎年いつまで田んぼが出来るか不安だが、今年は久しぶりに



若い方達が来てくれて嬉しい。俺ももう少し頑張ってみようと思っ

フードドライブで野菜受付開始



岩沢通信3月25日号でお知らせした「フードドライブ」が、現在フードバンクおぢやでは岩沢住民センターにフードバンクの寄付BOXを設置し協力をお願いしている

今シーズも野菜の回収開始し、今シーズは米や野菜などの食料品も回収しています。基本は毎週水曜日の夕方、祝日の場合は引き取りに来るが、物が多い場合は土日の開館時間には住民センターに詳しくお問い合わせください。



人物紹介(15)
 小千谷市立南中学校
 校長 松村 昌幸

「ともに」成長する南中学校

この春より南中学校でお世話になります。小千谷市勤務は初めてですが、七年前に近隣の学校(川口中学校)で勤務していたこともあり、学校界隈をどこか懐かしく感じているところです。南中学校は令和三年度に四十周年を迎え、今年度は次の周年に向けて、その一步を歩み始めたところです。当校校歌にある「ともに築(きず)かん」「ともに讃(たた)えん」「ともに邁進(すす)まん」のように学校に関わる全ての皆様と「ともに」を合い言葉に、先人が築いた伝統を受け継ぎ、子どもたちが健やかに成長し、次代を担えるよう教育活動を推進していきます。引き続き、皆様より南中学校の教育活動にご理解、ご支援をお願い申し上げます。

南部地域町内会長連絡協議会

6月9日(木)住民センターにおいて、今年度第1回目の南部4町内の協議会長と市議、地域づくり支援員が集まった会議が開催された。
この日の主な議題は万灯団体



の氣づ南會の支援と南小学校開校10周年記念事業について。出席した氣づ南會の庭野優也会長から今年の活動計画や予算についての説明があり、協議会としての万灯先導車への乗車や協賛金の案内について協力していくことを確認した。また南小学校開校10周年記念事業に関して、会としても11月19日の式典開催に向けて全面的に支援することを決定。
真人担当の渡邊支援員からは、地域の公共交通に関する問題提起があり、今は困っていないが、この先移動支援の必要性が必ず出てくるのではないかという意見が出された。ついては会としても今後協議していくこととなった。



地域の皆様には日頃からお世話になり感謝申し上げます。

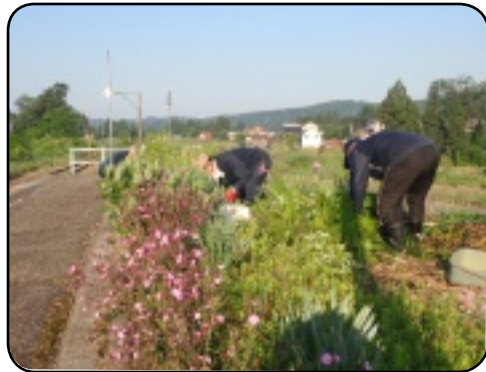
さて、私達氣づ南會は南部地域の若者の繋がりを通して、この地域を何とか元気にしたいと万灯団体を立ち上げました。平成元年には待望の万灯を制作しおぢや祭りに参加できましたが、ご承知のようにこの2年はコロナ禍により活動が出来ていません。そんな中、今年はいよいよおぢや祭りの開催が決まりメンバー一同張り切って万灯作りの準備を始めているところです。

しかしながら、万灯制作には多額の資金が必要のため、メンバーの会費だけでは賅えないのが実情です。今回この広報誌と同時に地域の皆様に協賛金のご案内を配らせて頂きました。諸物価高騰の折大変心苦しいのですが、無理の無い範囲でご協賛いただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。
氣づ南會 会長 庭野 優也

岩沢駅前花壇整備

岩沢ステーションフラワークラブは今年最初の活動として、恒例の岩沢駅前花壇の草取りを5月29日に行っ



た。会員は朝6時から集合し作業開始。またJ A 越後おぢや城川支店南部プラザ店から日々草の苗と肥料が寄付され、日改め後、りよ会員とて移る植と。

岩沢ステーションフラワークラブは今年最初の活動として、恒例の岩沢駅前花壇の草取りを5月29日に行っ



デイホームいわさわ運営協議会

5月31日久しぶりに対面での令和3年度デ

この中で特に問題となったのが、令和4年度は登録者の減少により年間の利用人数が1500人を下回り、その予測が示され、1500人を割ると小千谷市からの委託金が大きく減額されること

となる。そうなる運営に支障が出るとの報告があった。小泉一政会長からは「コロナ禍のせいもあり、利用が伸び悩んでいるが、それだけでなく登録者数も減っている。このままではデイホームの運営が成り立たなくなってしまう恐れがある。従って運営体制の見直しと、参加費の若干の値上げを提案したい」との発言があり、委員からは様々な意見が出されたが、事務局

案が承認された。お世話係の中心として活動する伊藤秋子さんは「人と触れ合うことは認知症の予防にも効果的です。ぜひデイホームに参加して、皆さんとおしゃべりしませんか」と呼びかけている。



岩沢桜峰学級開講式開催

5月20日小千谷市公民館事業である令和4年度の「桜峰学級」の開講式と講演会が開催された。この日の講師は阿賀町から来た元警官という経歴の持ち主である「中野小路たかまる」さん。交通安全事故や特殊詐欺を未然に防ぐ方法などを笑いを交えて楽しく講義していた。なお、講師の到着が少し遅れたため、主催と



して参加した生涯学習課の佐藤課長は担当者から無茶振りをされて、挨拶と前任の経験を活かして旧小千谷病院跡に建てられる新図書館の施設に関して、市民と一緒に話し合いながら作り上げていくなどの説明を行った。



編集後記

今月の人物紹介にあるように、南中学校の校長先生が今春に替わり取材に行った時の出来事。朝訪問すると学校の玄関前で生徒と先生がしゃがんで話しをしていました。校長先生は朝のミーティング中で改めて出直すことになり、1時間後に再訪するとその二人はまだ玄関に居ました。そして校長先生からお話しを聞いて写真を撮り終わって帰ろうとしても、かの二人は玄関でしゃがんで

います。どうやら小学生と思われる児童が授業に参加したくないみたいなお様子。しかし、その先生は叱るでもなく、生徒の隣で友達のように悩みを聞いていた姿が伺えました。おそらくこの子一人のために先生は忙しい時間を割いているのだと思われま。ですが、先生にはそんな様子が微塵も感じられません。初夏の暖かい日差しの中その二人がともまぶしく見えました。今回は文学的にまとめてみました。(一)